

## 保育所・小中学校の 災害時の備えは？

### 問

(1) 本市の資機材保有状況は、折り畳み式アルミボート20艇、ゴムボート2艇、救命胴衣15着である。

水害時に多くの市民を避難・移動する保有数なのか、子どもたちのことを思い、全ての保育所、学校に配備してあるのか、配備してはどうかなどの声がある。

アルミボート、ゴムボートを合わせて22艇ではとても満足いく数ではないと思うが、水害時に有効に安全に使用ができるのか。

食料、毛布、飲料水、発電機などの資機材、全体のバランスも考慮しなくてはならないが、市はどういう使用目的を想定してボートを保有しているのか。

(2) 現状の保有数で十分か。

(3) 救命胴衣は、市内全体で157着。学校だけでは、白鳥・大藤・栄南小学校が各32着となっているが、この救命胴衣はどんな目的を持って保有しているのか。

(4) 保育所によって保有の有無があるが、なぜか。

**救命胴衣は28年度までに  
全保育所への配備が完了予定**

### 答 総務部長

(1) 昭和34年の伊勢湾台風時には、船は人命救助、移動手段の確保や物資の輸送に威力を発揮した。

この教訓をもとに移動手段の確保、物資の輸送や情報伝達手段などに役立てるために、折り畳み式アルミボート、ゴムボートを保有している。

(2) (1)の使用目的での活用

を考えているので、最小限の保有数となっている。地区で災害用ボートを購入されるなら、自主防災組織補助金を活用して購入を検討いただければと考える。

(3) ボートが配備してある場所にボート用の装備品として配備している。

### 答 児童課長

(4) 24年度から海岸に近い南部地域から計画的に救命胴衣の配備を進めており、現時点では6園の配備が終了している。

今年度は残りの弥生・西部保育所に配備をし、28年度は白鳥保育所に配備する計画を進めている。

**図書館に雑誌スポンサー  
制度の導入を**

### 問

雑誌スポンサー制度とは、企業・団体などが図書館の雑誌購読料を負担するかわりに、雑誌のハードカバーに広告の掲載ができる制度である。購入経費を削減するとともに、地元企業

の身近な社会貢献の一つとして事業者のイメージアップにもつながる。

本市も導入してはどうか。

**28年度から制度の  
導入をしていきたい**

### 答 図書館長

予算の削減及び効率的な運用などのメリットがあり、図書館サービスの向上を図ることができるところから、28年度から制度の導入をしていきたい。

**カラー舗装による  
通学路の安全確保を**

### 問

(1) 路側帯のカラー舗装は、安全安心な通学環境を整えることができるかと考える。

市の考える路側帯のカラー舗装の目的を尋ねる。

(2) 十四山地区は施工されていないと思うが、なぜか。

(3) 通学路の交通安全を確実に確保することが重要であり、30人に満たない通学路でも路側帯のカラー舗装が必要ではないか。

**カラー舗装に限定せず、  
通学路の安全確保を進めたい**

### 答 開発部長

(1) 歩行者を路肩へ誘導し、車道内へのはみ出しを防ぐとともに、路肩は歩行者が通行するところと運転手へ視覚に訴えることで、歩行者と自動車との分離を図り、事故を防止するという目的がある。

(2) 現在、十四山地区での施工実績はない。

人口集中地区や通学児童が30人以上の通学路及び歩道が未整備で、駅周辺の通勤・通学者の利用が多いところなどの要件に該当する場所から順次整備を進めてきた。

(3) 今年度、教育委員会を中心に弥富市通学路交通安全プログラムを策定し、通学路の安全性の向上を図っていく。危険な通学路は、路肩のカラー舗装に限定せず、区画線やカーブミラー、看板などの設置により通学路の安全確保を進めたい。